

2018年12月25日

戸田建設 第57回土木技術研究発表会を開催

—生産性向上への取り組みや施工事例16件を発表—

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、12月4日(火)に東京都中央区の本社会議室において、第57回土木技術研究発表会を開催しました。当社は、土木技術の向上と継承および技術職員のレベルアップを目的として同発表会を毎年開催しています。本社会場のほか、テレビ会議システムで地方支店の会議室を中継で結び、総勢292名の役職員が参加しました。

開催にあたり社長は、「国際的な競争を勝ち抜いていくためには、生産性を上げていく必要があります。そのためには技術力が大変重要である。世界にはイノベーションを進めている会社が存在していることを認識し、私たちも未来を見据えて持続的に成長していかなければならない。また、場合により行動経済学や脳科学などの多様な知見も施工技術に取り入れていくことが必要になる。」と説明した上で、さらに「本日は有意義な発表があるので、水平展開して社員全員で共有し、当社の技術力を向上させることが非常に重要である。」と社員に訴えました。

続いて藤田土木本部長からは、「好調な受注により現場は益々多忙を極めていくが、お客様に満足して頂ける形で引き渡していくために、生産性向上や技術開発の重みを噛み締めながら本日の発表会を有意義なものとして頂きたい。」との挨拶がありました。

発表会は、4つのセッションで構成され、生産性向上への取り組みに関してICTの活用や、現場での導入事例など4件の報告が行われ、つぎに現場施工に関する技術発表(土質・基礎、山岳トンネル、明かり工事などに関する計12件)が行われました。

なお、技術提携を結んでいる西松建設(株)(社長:高瀬伸利)からも15名が参加し、2件の技術発表が行われました。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 藤田土木本部長による挨拶